

注意 「傷害または財産などへの損害が発生する恐れがある内容」です。

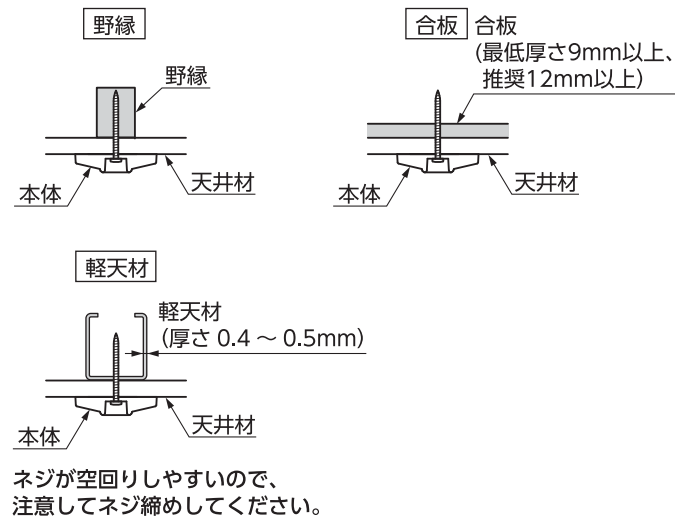
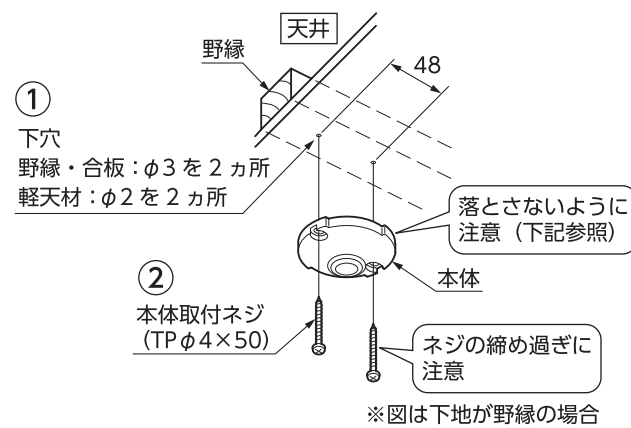
- 製品を分解しない。
- 製品を落下させるなどの強い衝撃を与えない。(故障や破損、分解の原因となります。)
- 天井などの建築構造や取付ネジの有効性などを理解されている方が取付ける。それ以外の方は専門の業者に取付けを依頼する。(専門知識のない方が天井面へ取付けると、落下や事故の原因となります。)

1 本体の取付け

取付方法は、天井や下地の材質によって異なります。

- 市販の下地探し用の針やセンサーなどを使用して、下地に野縁・合板・軽天材のある箇所に下穴をあけてください。下地のない箇所にはネジが効きません。

■付属ネジで取付ける場合



取付ネジに関する注意

■電動ドライバードリルを使用するとき

- 電動ドライバードリルはネジ締め終わりの手前4~5mmでとめ、その後は手回しで感触を確かめながらネジ締めしてください。
- 電動ドライバードリルなどでネジを空回りさせると、下地の材質(野縁・合板・軽天材)を問わず、ネジが確実に効きません。製品の落下など重大事故の原因となりますので、十分ご注意ください。

■ネジは締め過ぎないでください

- ネジを強く締め過ぎると本体が変形し、ボールの着脱ができなくなることがあります。着脱できない場合は着脱できるようになるまで少しずつ確認しながらネジをゆるめてください。
- 本体が天井材に沈み込むほどネジを強く締め過ぎると、その後ネジをゆるめてもカバーを正常に取付けられません。製品の落下など重大事故の原因となりますので、十分ご注意ください。

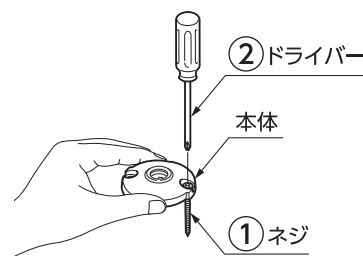
■軽天材にネジ下穴をあけるとき

- ドリルをまっすぐ当ててください。ドリルを傾けて使うと下穴がゆがんで強度不足となる恐れがあります。

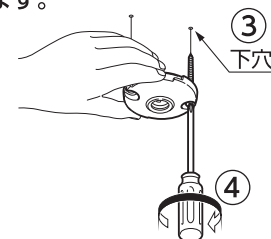
本体を落とさないでください

本体を落とさずに取付けるには、次の手順をお勧めします。

- ① 手もとで、本体にネジ(1本)をさし込みます。
- ② ネジの十字穴にドライバーをさし込み、ネジを押さええます。



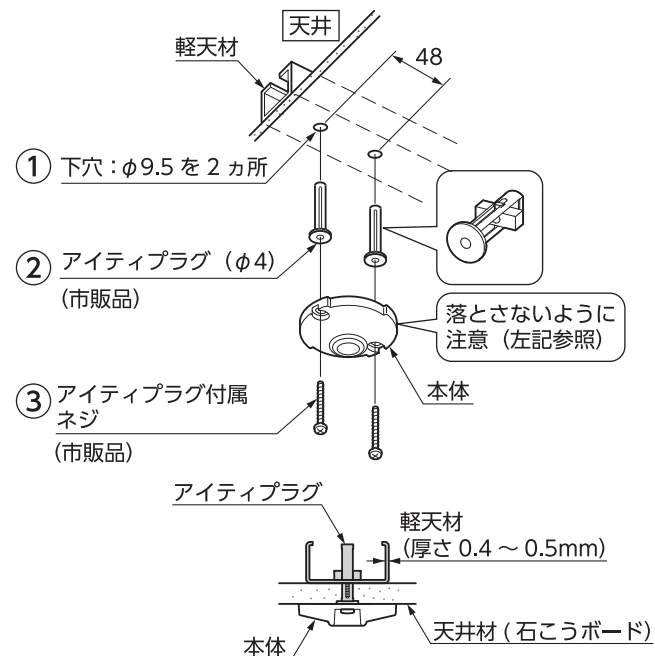
- ③ 本体・ネジ・ドライバーをセットしたまま、ネジを下穴にさし込み、
- ④ ネジを締めます。



■軽天材に市販品のネジで取付ける場合

アイティプラグ (石こうボード天井+下地が軽天材)

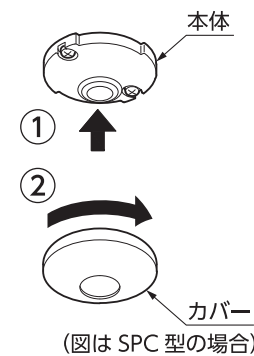
空回りしにくく、しっかりネジ締めできます。 ※市販の下地探し用の針やセンサーなどを使用して、下穴は軽天材の中央に正確にあけてください。



2 カバーの取付け

- ① カバーを本体にはめ込み、上に軽く押し当てながら、
- ② 右に回します。落下防止のため、確実にとまるまではめ込んでください。

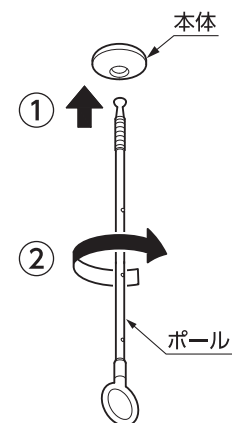
※取付けた後に天井とカバーに隙間があくことや、カバーがわずかに動くことがあります。カバーを本体に正常に取付けるために必要な隙間ですので、そのままご使用いただけます。



3 ボールの取付け

- ① ボールを本体にさし込み、上に軽く押し当てながら、
- ② 右に回します。「カチッ」と音がしてロックされます。 ※取外すときは、ボールを軽く上に押し当てて左に回してください。

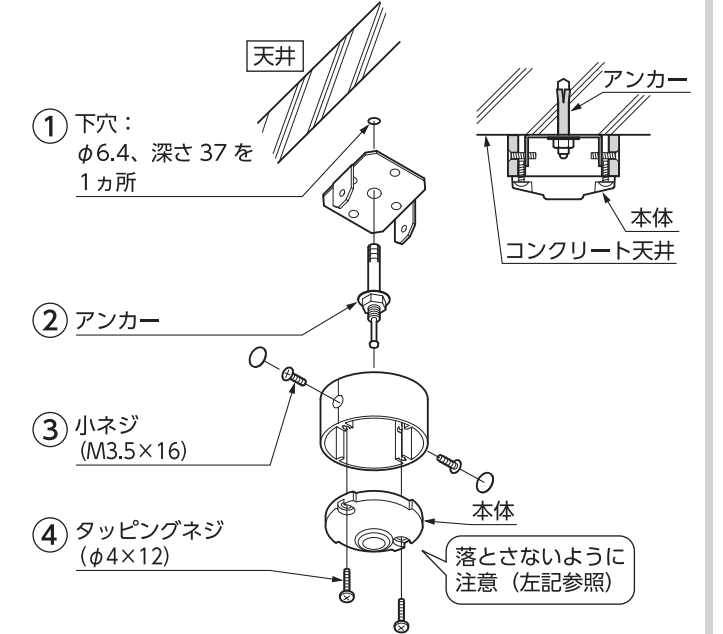
● ボール上部のパネを60°以上曲げないでください。(破損の恐れがあります。)



■コンクリート天井に取付ける場合

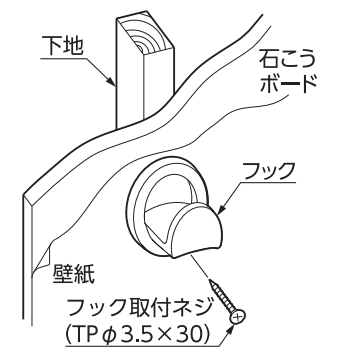
SP型コンクリート用パーツ (SPRC-1-W)

コンクリート天井への直付けには別売のパーツをご使用ください。パーツに付属のアンカーを使用して取付けます。詳細はパーツの取付説明書をご確認ください。



4 フックの取付け (ボールを壁にかけて保管する場合)

- ① ネジ(1本)でフックを取付けます。 ● 桧または6mm以上の合板がある位置に取付けてください。下地のない箇所にはネジが効きません。 ● 壁面が石こうボードのみのときは、ボード用アンカー(市販品)を使用してください。 ● フック1個にボール2本をかけられます。



5 点検

下記の箇所を点検してください。

部品	確認事項
本体	ぐらつかず、ネジが最後まで締まっていること。
カバー	右にとまるまで回っていること。
ボール	着脱時「カチッ」と音がして、ロック・ロック解除されること。(着脱できない場合は「取付ネジに関する注意」参照) リングを引っ張り、黄色・赤色のラインが出ること。
フック	ぐらつかず、ネジが最後まで締まっていること。

